

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

下 山登出大作戦

神山小学校 五年 木巻 涼佑

たかーい、真白だ。

ぼくたちは、宿泊学習の二日目にこの登山

問の、たいこ岩登山に出合、てしま、たのだ。

たいこ岩の入り口の前を併走してしま

った。たいこ岩を見上げるだけで、自分の予

想をこえるほど高い山だった。ぼくはと

ても楽しみだ、たか、山を見上げるよすぐに

気を落した。そして山にはいった。

山に入るとさまざまの物音がきこえた。

草々のみどり水のながれる音、歩目ている

とその水の音は、たいこ岩の大きくなり、ばな

たきの流れる音はかわっていった。たくさん

の鳥の鳴き声、木をきけば、とても心がおか

れかひなる。しばらく行くと、ツツの上

うな木がそびえていた。そのあと、ま

まざまなり、ばな木がいっぱい立っていた。

ぼくは山にのぼった時に一度はしてみたが、

た事がある。山の上で、ヤンキーと会い

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

たか、た。それがやりたい事の一つ。そして
 その時が来たのだ。ついに、ペペにきた。
 その心ようじょうが、さいしよの一文だ。ま
 らにぼくが一番したか、た事もできた。その
 とまはむねかしてもす。きりした。しおあ、
 たあ、また元の道をおりた。そのあとに、良ハ
 た、はんは天にめすほどおいしか、た。

No. _____

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

